

# OnRPA<sup>®</sup> ユーザガイド

株式会社アクシオ

2022 年 9 月 1.34 版

## 改訂履歴

No.	改正 番号	年 月 日	制 改	記 事 (制定・改正の理由、ポイントなど)	承認	制定
1	1.0	2018 年 07 月 31 日	制	初版制定	池本	副島
2	1.1	2018 年 09 月 27 日	改	別紙「WinActor を RDP 接続で使用する際の注意事 項」 制定に伴う変更	池本	笠井
3	1.2	2019 年 3 月 25 日	改	画面上の表示名変更に伴う変更	池本	笠井
4	1.2.1	2020 年 11 月 27 日	改	体験版機能見直しに伴う変更	大野	池本
5	1.3	2021 年 6 月 1 日	改	V1.3 リリースに伴う改定 2-1 はじめての起動と設定方法 内容変更	池本	副島
6	1.31	2021 年 11 月 22 日	改	V1.3 評価版リリースに伴う改定	大野	副島
7	1.32	2022 年 1 月 17 日	改	Windows11 Pro 対応に伴う改訂	大野	池本
8	1.33	2022 年 2 月 7 日	改	「管理者ガイド 8.ライセンス規定の変更」に伴い、 バージョン改訂	大野	岡本
9	1.34	2022 年 9 月 13 日	改	「管理者ガイド 8,9 章の追加」に伴い、バージョン 改訂	大野	副島

## 【目次】

1. 製品版と評価版の違い.....	2
2. OnRPA®の利用方法 .....	3
2-1 はじめての起動と設定方法 .....	3
2-2 OnRPA®の使用方法 .....	6
3. 注意事項 .....	8
3-1 リモートデスクトップ接続サービス実行後に競合する場合の注意.....	8
3-2. リモートデスクトップ接続で RPA ソフトウェアを使用する際の注意事項 .....	8

## 1. 製品版と評価版の違い

製品版は OnRPA®全ての機能を制限無く利用する事が出来ます。製品版をご利用のお客様は、「2. OnRPA®の利用方法」にお進みください。

評価版には、製品版に比べて以下の制限があります。

### ➤ 使用できる用途の制限

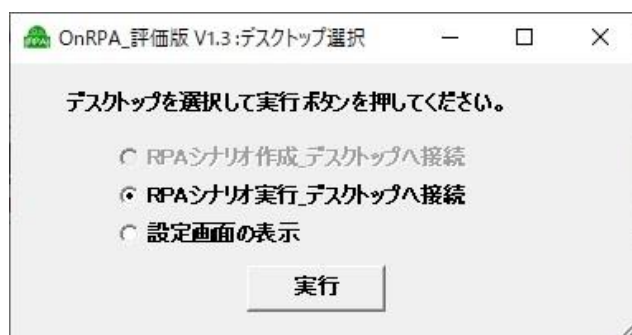
評価ライセンスでの用途は、製品購入を目的とした評価になります。継続的に使用したり、業務に使用したりすることは禁じられています。その場合は製品版のご購入をお願いします。

### ➤ 管理可能な RPA\_デスクトップの台数制限

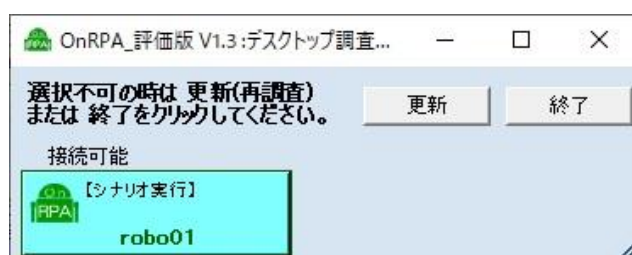
RPA\_デスクトップとは、WinActor などの RPA ソフトウェアを実装した PC（ロボ PC）のリモートデスクトップ接続対象です。

### ➤ 評価版では、管理可能な RPA\_デスクトップは、1 台となります。

アプリケーションを起動すると、「RPA シナリオ作成\_デスクトップ」の項目は下図のようにグレースアウトして利用出来ませんので、設定画面の表示にて、「RPA シナリオ実行\_デスクトップ」の登録フィールドに 1 台のホスト名を登録してご利用ください。



### ➤ 評価版では、RPA がインストールされた PC1 台に対して接続出来ます。



## 2. OnRPA®の利用方法

OnRPA®は、RPA（Robotic Process Automation）ソフトウェアを実装した端末（ロボ PC）にリモートデスクトップ接続して RPA ソフトウェア（WinActor 等）を実行する際に、使用されていないロボ PC に接続誘導するソフトウェアで、リモートデスクトップ接続\*を行う接続元 PC（ユーザ端末）にインストールされます。

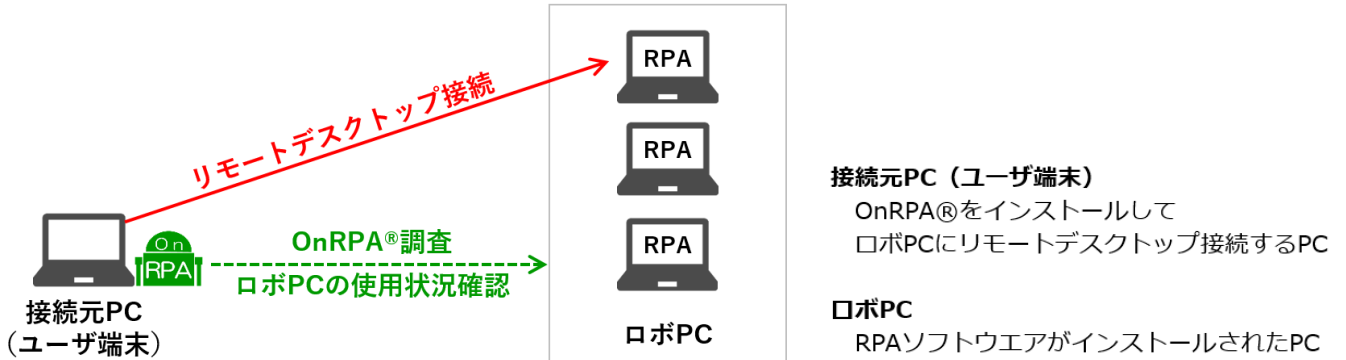


図-1-1 OnRPA®利用構成

### ➤ リモートデスクトップ接続とは（図-1-2）

遠方に設置された PC に対してネットワークを経由して接続するサービスで、手元のキーボードやマウスを操作した情報を遠方の PC に送信し、遠方の PC の画面表示をネットワーク経由で受信し、手元のディスプレイに表示するものです。遠隔の PC について手元で操作することが可能なサービスです。

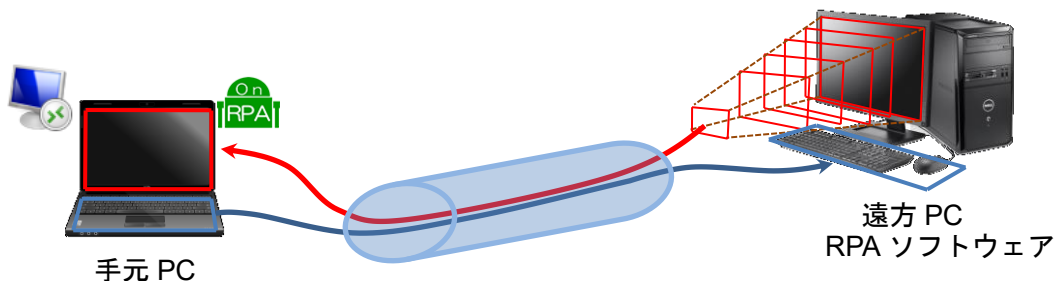


図-1-2 リモートデスクトップ接続

### 2-1 はじめての起動と設定方法

OnRPA®の起動後のウィンドウにて“設定画面の表示”を選択して“実行”をクリックして下さい。（図 1-1-1）

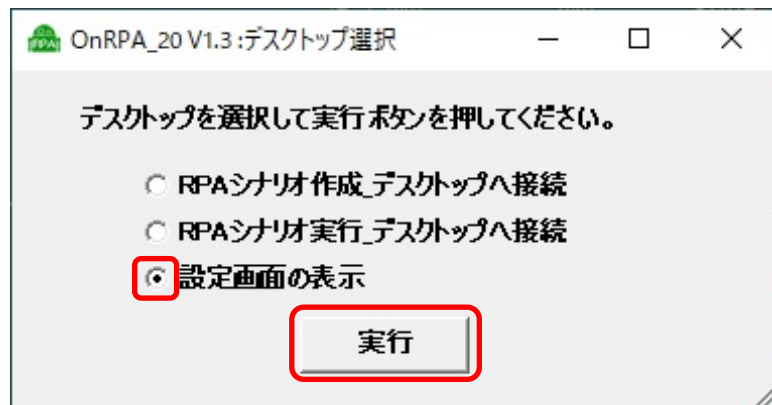


図 2-1-1 デスクトップ選択画面

下記のように設定画面が表示されます。(図 2-1-2)

図 2-1-2 設定画面

# ① 接続デスクトップの設定

「接続ボタン名にロボ名(別名)を使用する」

チェックボックスをチェックするとデスクトップ調査結果画面で接続ボタン名に表示される PC の名称がホスト名からロボ名に変更されます。

「RPA シナリオ作成\_デスクトップ」

RPA シナリオ作成\_デスクトップのホスト名またはロボ名を登録するフィールドです。

管理者から指定されたホスト名およびロボ名を入力してください。

「RPA シナリオ実行\_デスクトップ」

RPA シナリオ実行\_デスクトップのホスト名またはロボ名を登録するフィールドです。

管理者から指定されたホスト名およびロボ名を入力してください。

## 【注意事項】

- ・ ホスト名、ロボ名の入力文字数の制限

ホスト名については入力文字数の制限はありませんが、ロボ名については半角文字 20 文字数幅(文字種別の混在状況により異なります)が入力文字数上限です。テキストボックスに表示できる文字数となりそれ以上は入力できません。カットアンドペーストなどで入力文字制限を超えたペーストをすると空白になります。

- ・ ホスト名、ロボ名の入力文字の制限

半角コロン (:) は使用できません。また、アンパサンド (&) を入力する場合は、&& と 2 文字の重複で&が表示されます。その他文字制限は管理者の指定に従ってください。

- ・ ホスト名、ロボ名の空白処理

ホスト名は接続情報として必須のために空白は認められません。ロボ名の空白は認められますが、「接続ボタン名にロボ名(別名)を使用する」にチェックを入れている場合でロボ名が空白の場合はホスト名が表示されます。

② 解像度の設定

デフォルトは“ローカルの解像度に合わせる”に設定されています。異なった解像度において作成されたシナリオを実行する際などの場合はチェックボックスを外して、任意の解像度でリモートデスクトップを開くことが可能です。

③ 設定ファイル

「エクスポート」

設定済みの内容をファイルに出力します。エクスポートボタンを押下して表示される画面に従い出力するファイルを定義してください。

\* 設定画面にて設定を編集中の場合のエクスポートは設定ボタンを押下して、設定内容を保存後、エクスポートしてください。

「インポート」

指定ファイルの内容を設定に反映します。インポートボタンを押下して表示される画面に従い設定を反映させるファイルを定義してください。

④ 管理 ID

通常は0のままです。管理者から指定のあった場合のみ、入力してください。

⑤ デバックモード

通常はチェックなしのままです。管理者から指定のあった場合のみ、入力してください。

**\* すべての設定を入力したら、設定ボタンを押してください。**

## 2-2 OnRPA®の使用手法

① OnRPA®を起動すると、下記の様にデスクトップ選択画面が表示されます。

接続したいデスクトップグループを選択して、実行をクリックします。(図 2-2-1)

- 「RPA シナリオ作成\_デスクトップへ接続」

RPA シナリオ作成環境がインストールされたデスクトップへ接続します。RPA シナリオ作成\_デスクトップは、シナリオの作成と実行が可能です。

- 「RPA シナリオ実行\_デスクトップへ接続」

RPA シナリオ実行環境がインストールされたデスクトップへ接続します。RPA シナリオ実行\_デスクトップは、シナリオの実行のみ可能です。

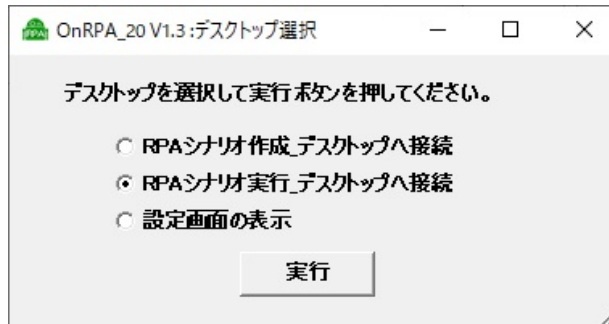


図 2-2-1 デスクトップ選択

② 選択されたデスクトップの接続状況についての調査を開始します。(図 2-2-2)

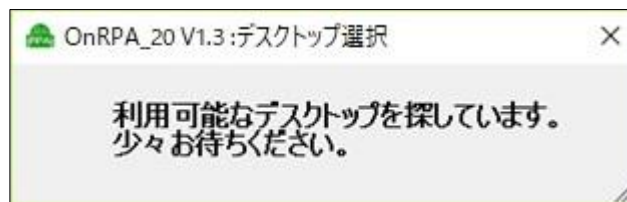


図 2-2-2 デスクトップ調査待ち

③ デスクトップの調査結果が表示されます。(図 2-2-3)



図 2-2-3 デスクトップ調査結果 (RPA シナリオ実行\_デスクトップへ接続を選択した場合。)

接続可能なデスクトップはボタンが有効化に、接続不可のデスクトップはボタンが無効化され赤字にて以下の理由が表示されます。

- **接続可能** 対象のデスクトップは接続可能で、ボタンが有効化されています。
- **No Response** 対象のデスクトップの電源が入っていないか、メンテナンスなどによりリモートデスクトップ接続が許可されていません。
- **user 名 使用中** 対象のデスクトップは user 名 が使用中です。

RPA シナリオ作成\_デスクトップへ接続を選択した場合は下記の様に表示されます。(図 2-2-4)

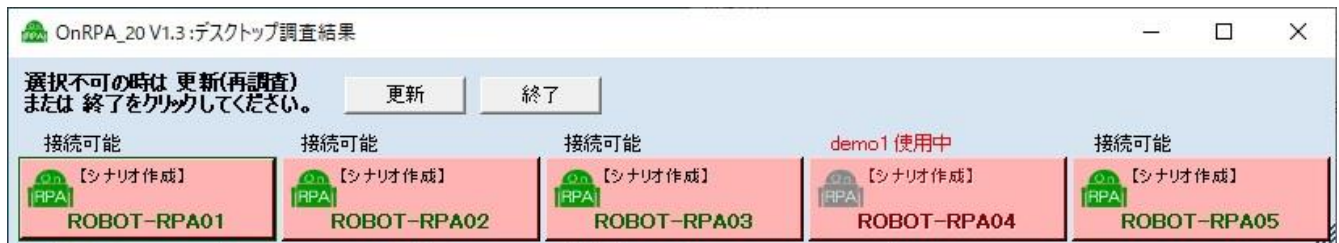


図 2-2-4 RPA シナリオ作成\_デスクトップへ接続を選択した場合

それぞれの画面にて、接続可能なデスクトップのボタンをクリックしてデスクトップに接続します。

（接続可能なデスクトップボタンが無い場合は、しばらくしてから更新ボタンをクリックするか終了ボタンをクリックして、しばらくしてから OnRPA®を再実行してください。）

- ④ デスクトップ接続サービス起動画面が表示されます。（図 2-2-5）

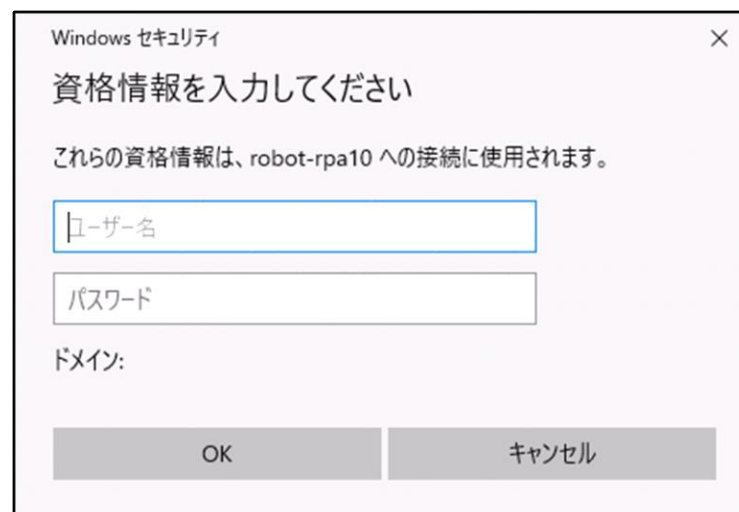


図 2-2-5 デスクトップ接続サービス画面

接続対象デスクトップの ユーザ名とパスワードを入力して、リモートデスクトップを開きます。

- ⑤ デスクトップ調査結果表示中に、他のユーザが接続をしてしまう場合  
デスクトップ調査結果表示から接続ボタンをクリックする間に、他のユーザが接続をしてしまう場合は下記が表示されます。（図 2-2-6）

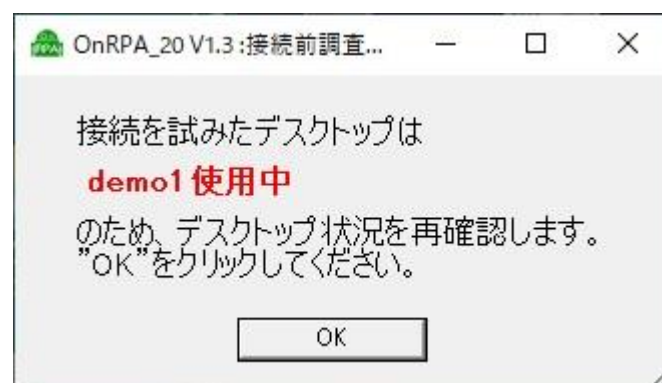


図 2-2-6 接続前調査結果

OK ボタンをクリックして、デスクトップの再調査を実施します。



### 3. 注意事項

#### 3-1 リモートデスクトップ接続サービス実行後に競合する場合の注意

##### 接続が競合した場合の注意事項

ごくまれに、複数の端末から同時にデスクトップに接続された場合は、接続する端末にて“接続していません”と表示されたポップアップウィンドが表示し続ける場合があります。その場合はリモートデスクトップ接続をキャンセルして、再度 OnRPA®を起動して接続を試みてください。（図 3-1-1）

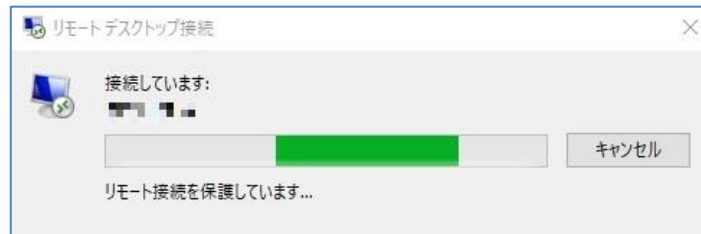


図 3-1-1

または、下記の図のように後着接続した旨のメッセージが表示される場合もあります。（図 3-1-2）

この場合は“いいえ”をクリックして、再度 OnRPA®を起動して接続を試みてください。

（“はい”をクリックすると先行接続ユーザに多大な迷惑がかかる恐れがあります。クリックしないようにお願いします。）



図 3-1-2 後着接続した場合のメッセージ

#### 3-2. リモートデスクトップ接続で RPA ソフトウェアを使用する際の注意事項

RDP 接続で RPA ソフトウェアを使用する場合は、制限事項があってシナリオなど正常に動作しない場合があります。

各 RPA ソフトウェアの注意事項にしたがって運用をお願いします。

「OnRPA」は、株式会社アクシオの登録商標です。

「WinActor」は、エヌ・ティ・ティ・アドバンステクノロジー株式会社の登録商標です。

その他の会社名または製品名は、各社の商標または登録商標です。